

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	企画政策課	担当係	重点事業	○					
R4	事業名	ICT施策推進事業										
総合計画	基本目標	5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち										
	政策	4 未来に向かって行政機能を高めるまちづくり										
	施策	2 ICT(情報通信技術)を活用し効率的な行政運営										
体系・概要	事業の目的	先進ICTの活用によって市民ニーズにあった形で社会課題を解決しつつ、市民サービスの向上を図る。 デジタルガバメントを推進するべく各種業務のデジタル化を図るとともに、新たなICTについて研究、活用する。										
事業の概要	事業の概要	←基本目標が1～5の事業は総合計画に位置付ける事業です。1～5以外の事業は任務目的事業になります。										
事業コスト分析	予算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称						
		2	1	1	2300000	ICT施策推進費						
		R3年度	R4年度	前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		6,009,000	5,884,000	△ 125,000	97.9%		0	0	0	0	5,884,000	
		事業費割合(事業費/施策費)		R2年度	R3年度	R4年度						
		項目	R2年度	R3年度	R4年度	事業費内訳						
		予算額	6,141,000	6,009,000	5,884,000	節	決算額	節	決算額			
		決算額	6,070,739	5,957,919	5,783,434	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
		不用額	70,261	51,081	100,566	02 給料	0	17 備品購入費	0			
		執行率	98.9%	99.1%	98.3%	03 職員手当等	0	18 退職金	0			
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	05 災害	0	20 貸付金	0	0		
		県支出金	0	0	0	06 減価償却金	0	21 補償、補填及び賠償金	0	0		
		地方債	0	0	0	07 旅費	0	08 雑費	0	0		
		その他	0	0	0	09 交際費	0	10 需用費	0	0		
		一般財源	6,070,739	5,957,919	5,783,434	11 役員費	0	12 委託料	0	0		
		前年比較	—	—	98.1% B	97.1% B	91%以下 A	90%以下 A	91%~99% B	91%~99% B		
		職員人件費	0	4,363,000	4,302,000	13 印刷費	0	14 工事	0	0		
		総事業コスト	6,070,739	10,320,919	10,085,434	15 手数料	0	16 雑費	0	0		
		前年比較	—	—	170.0% D	97.7% B	101%以上 D	101%以上 D				
	主財源	大幅な経費増減はないが、今後DXを推進するシステム等の導入が...										
	コスト分析	総事業コストを前年比較した評価になります。										
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価		R2年度	R3年度	R4年度						
		指標名	単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
		成果1	庁内外を合わせた電子申請件数	件	484.0	4,500.0	0.0	572.0	650.0	9,457.0	4,000.0	21,156.0
		成果2	電子申請件数に対する申請システム運用経		1	7			1454.9%	S	528.9%	S
		効率1	電子申請件数に対する申請システム運用経									
		効率2	人件費									
		事業実施内容	・庁内外で利用できる電子申請・地図情報システムの庁内での									
			「成果」「効率」指標の達成度		評価							
			実績値が目標値の+30%以上のもの		S							
			実績値が目標値の+29.9%以上~+10.1%のもの		A							
		実績値が目標値の±10%範囲のもの		B								
		実績値が目標値の-10.1%~-19.9%のもの		C								
		実績値が目標値の-20%未満~現状値以上のもの		D								
		実績値が現状値未満のもの		E								
		事業の進捗状況を図るため、指標を設けています。事業を実施するうえで達成を目指す目標数値を設定しています。目標値については行政経営システムを本格的に稼働したのが令和3年度となりますので、令和3年度から入力されています。評価については、市の評価基準が下表のとおり区分しています。										

CHECK評価	事業成果	・電子申請システム「LoGoフォーム」では庁内外合わせて2021年計21,156件の電子申請を受領した。 ・地図情報システムに「水道管路図」等の新規レイヤを内での活用について検討した。	
	事業内容	各評価結果を基に総合判定評価は4つの評価項目に分類されます。また、「コスト」と「成果」から事業の「評価年度+2年度の方向性」を示します。	
	事業内容	前年比較した一般財源評価と総事業コスト評価を総合した評価になります。	
	事業内容	左側の指標評価になります。	
	事業内容	各評価結果を基に総合判定評価は4つの評価項目に分類されます。また、「コスト」と「成果」から事業の「評価年度+2年度の方向性」を示します。	
	事業内容	効率的・有効性・必要性の3つの評価視点の判定結果を基に事業内容評価となります。	
	事業内容	課題に対する改善案... ・各業務担当者に対し電子申請システム「LoGoフォーム」の研修 ・地図情報システムの活用方法について、先進地事例などを参考	
	事業内容	令和5年3月現在、変更は見込まれない。	
	事業内容	評価年度の+1年度の事業計画になります。	
	事業内容	評価年度の+2年度の事業計画になります。	
事業内容	電子申請システムへのオプション機能追加等により費用の増加が見込まれる。		
事業内容	DXの推進状況により費用の増減が見込まれる。		
事業内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 市民サービスの向上、業務の効率化を図るため、引き続き電子申請システムや地図情報システムの活用を図っていく必要がある。		

←基本目標が1～5の事業は総合計画に位置付ける事業です。1～5以外の事業は任務目的事業になります。

前年比較した一般財源評価と総事業コスト評価を総合した評価になります。

総合判定評価	評価項目	評価年度+2年度の方向性		
		コスト	成果	改善
A	計画どおりに事業を進めることが適当	拡充	拡充	①事業の進め方
B	事業の進め方の改善検討	維持	維持	②事業規模
C	事業規模・内容・主体の見直し検討	縮小	縮小	③事業内容
D	事業の統合・休止の検討	皆減	休止	④事業主体
				⑤事業統合
				⑥事業休止

事業内容評価項目	評価内容
A 現状維持	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」
B 生産性改善	生産性が低い⇔「効率がわるい」
C 有効性改善	有効性が低い⇔「効果が薄い」
D 妥当性改善	必要性・妥当性が低い⇔「市の実施根拠が薄い」
E 抜本的改善	改善要素が平均的に複数ある⇔「抜本的な変更」
F 段階的縮小	生産性・有効性が低い⇔「縮小」
G 廃止	有効性・妥当性が低い⇔「必要性が薄い」

一般財源を前年比較した評価になります。

決算額前年比較			
一般財源割合	総事業コスト割合	評価	評価
90%以下	90%以下	A	A
91%~99%	91%~99%	B	B
100%	100%	C	C
101%以上	101%以上	D	D

総事業コストを前年比較した評価になります。

事業の進捗状況を図るため、指標を設けています。事業を実施するうえで達成を目指す目標数値を設定しています。目標値については行政経営システムを本格的に稼働したのが令和3年度となりますので、令和3年度から入力されています。評価については、市の評価基準が下表のとおり区分しています。

「成果」「効率」指標の達成度	評価
実績値が目標値の+30%以上のもの	S
実績値が目標値の+29.9%以上~+10.1%のもの	A
実績値が目標値の±10%範囲のもの	B
実績値が目標値の-10.1%~-19.9%のもの	C
実績値が目標値の-20%未満~現状値以上のもの	D
実績値が現状値未満のもの	E